

産業技術総合研究所 平成 27 年度 研究関連業務評価委員会  
議事要旨

1. 日時：平成 28 年 3 月 11 日（金）10:30～17:30
2. 場所：産業技術総合研究所 つくばセンター 西事業所 TIA 連携棟 TIA-nano ホール

3. 議事

- (1) 開会挨拶
- (2) 委員紹介・資料説明
- (3) 領域による説明（質疑含む）（議事進行：和坂 貞雄 評価委員長）
- (4) 総合討論・評価委員討議・講評（議事進行：和坂 貞雄 評価委員長）
- (5) 閉会挨拶

4. 議事概要

- (1) イノベーション推進本部、TIA 推進センター、企画本部、総務本部の説明と質疑応答  
資料 4～6 に基づき上記評価対象部署の研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項のうち、1. 「橋渡し」機能の強化 (1) マーケティング力の強化、(2) 技術的ポテンシャルを活かした指導助言等の実施、(3) 戦略的な知的財産マネジメント、(4) 地域イノベーションの推進、(5) 世界的な産学官連携拠点の形成、(6) 「橋渡し」機能強化を念頭に置いた領域・研究者の評価基準の導入、2. 業務横断的な取組 (1) 研究人材の拡充、流動化、育成、及び (2) 組織の見直し の各項目について説明が行われ、それぞれについて評価委員による質疑応答が行われた。1. (1)～(4) では外部資金の獲得額の目標と実績との関係、国研がマーケティングを行う意義、知財戦略、地域への産総研の貢献の仕方等について質疑が行われた。1. (5) では TIA のコンソーシアムとしてのあり方等について質疑が行われた。1. (6) では個人の評価のあり方について質疑が行われた。2. (1) では職員の採用の仕方、テニュアトラックのあり方について質疑が行われた。2. (2) では新しい組織を立ち上げた時のその組織の活性化、目標値が達成できなかった時の組織のあり方等について質疑が行われた。
- (2) 総合討論  
説明全般について総合討論が行われた。
- (3) 評価委員討議  
今回の評価に関して、評価委員による討議が行われた。
- (4) 講評  
評価委員長はじめ評価委員より評価対象業務に対する講評が行われた。

5. 評価委員（敬称略、順不同）

和坂 貞雄	和歌山県工業技術センター 所長（評価委員長）
小山 珠美	昭和電工株式会社 安全性試験センター センター長
鈴木 潤	政策研究大学院大学 教授
高橋 俊介	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授
山崎 晃	千葉工業大学 社会システム科学部 金融・経営リスク科学科 教授

6. 配布資料

資料 1：議事次第

資料 2：出席予定者

資料 3：座席表

資料 4：評価資料（その 1）主要な経年データ

資料 5：評価資料（その 2）主な業務実績等

資料 6：評価資料（その 3）説明資料

別添資料 1：平成 27 年度計画（抜粋）

別添資料 2：評価項目及び評価方法

別添資料 3：産総研評価情報システム利用ガイド（評価委員のみ）

別添資料 4：評価コメント記入用紙（評価委員のみ）